



- 1) 第 45 回日本頭痛学会総会 会長 竹島多賀夫先生よりご寄稿
- 2) Headache Master School Japan 2017 (HMSJ2017) in Kumamoto 開催
- 3) 2017 年度日本頭痛学会新代議員選挙に関する各種様式を掲載しました。
- 4) 最近の頭痛研究トピックス(広報委員会から最新の論文をご紹介)



1) 第 45 回日本頭痛学会総会 会長 竹島多賀夫先生よりご寄稿

第 45 回日本頭痛学会総会を 2017 年 11 月 10 日(金)～11 日(土)の 2 日間、大阪国際交流センターにて開催させていただきます(<http://www.c-linkage.co.jp/45jhs/>)。メインテーマは“Beyond the horizon in headache: Challenges of clinicians and Neuroscientists”としました。頭痛学会の国際化をうけて、一般演題にも英語セッションを設け、海外からの応募を受け付けました。日本頭痛学会は日本語で最近のトピックスをじっくり聴ける場でもあり、同時に英語で海外のエキスパートとボーダーレスに交流、情報交換ができる場となれば幸いです。

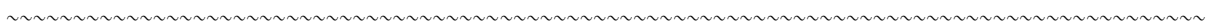
一般演題は182 題の応募をいただきました。シンポジウム 5 件、ワークショップ 5 件、ディベートセッション1件、東洋医学セミナー2件を組み、特別講演は 3 題予定しています。海外からは、特別演者として Prof. Andrew Charles、Prof. Dr. Jean Schoenen、Prof. Stefan Evers、Prof. Byung-Kun Kim をお招きしました。ご専門分野のトピックスについてご講演いただきます。

教育講演は 11 月 10 日、11 日両日の早朝に実施します。頭痛専門医を目指される先生方の受験資格要件、頭痛専門医の先生方の update のための標準的な知識の整理と最新情報の提供を意図して企画しました。市民公開講座は日本頭痛協会と連携して開催します。また、サテライト企画として、日本口腔顔面痛学会との共催で Headache Academy for Dentists を開催します。

大阪での初めての頭痛学会の開催です。大阪は各地よりアクセスがしやすい都市で、観光資源も豊富です。インバウンドが急増しており、新名所も多数ございます。実行委員会のメンバーならびにスタッフ一同、皆様のお越しをお待ち申し上げます。

第 45 回日本頭痛学会総会 会長 竹島多賀夫

社会医療法人寿会 富永病院 副院長、神経内科部長、頭痛センター長



2) Headache Master School Japan 2017 (HMSJ2017) in Kumamoto 開催

「HMSJ2017 in Kumamoto」を開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回は九州地方で初めての開催となります。定員に達し次第、募集は締め切りとなりますので受講希望される方はお早めにご応募ください。

記

日時：平成 29 年 10 月 8 日（日）9 時 30 分～16 時 30 分

会場：くまもと県民交流会館パレア (<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/>)

募集数：約 200 名

募集期間：平成 29 年 8 月 1 日～9 月 24 日まで（定員に達し次第締め切ります）

受講費：¥20,000

実行委員長：橋本 洋一郎（熊本市民病院首席診療部長/神経内科部長）

主催：一般社団法人 日本頭痛学会

ホームページ：<http://hmsj2017.umin.jp/>

3) 2017 年度日本頭痛学会新代議員選挙に関する各種様式を掲載しました。

2017 年度日本頭痛学会新代議員選挙について(公示)

日本頭痛学会は、日本頭痛学会代議員選出細則規定に基づき、2017 年学術大会終了後から 2019 年学術大会 終了まで(2 年)を任期とする代議員 20 名を選出するため お知らせします。以下をご参照ください。

<http://www.jhsnet.org/topics.html>

<http://www.jhsnet.org/pdf/20170809.pdf>

4) 最近の頭痛研究トピックス(広報委員会から最新の論文をご紹介)

片頭痛患者大脳皮質のグルタミン酸濃度

Zielman R, et al. Cortical glutamate in migraine. *Brain* 2017;140:1859-1871.

掲載日：2017/07/19

Erenumab (AMG 334)の慢性片頭痛患者に対する予防効果と安全性

Tepper S, et al. Safety and efficacy of erenumab for preventive treatment of chronic migraine: a randomised, double-blind, placebo-controlled phase 2 trial. *Lancet Neurol* 2017;16:425-434.

掲載日：2017/06/05

前兆のある片頭痛の発作中における脳幹血流と血液脳関門透過性の変化

Hougaard A, et al. Increased brainstem perfusion, but no blood-brain barrier disruption, during attacks of migraine with aura. *Brain* 2017. doi:10.1093/brain/awx089

掲載日：2017/05/16

片頭痛発作とアロディニアの間に生じているドパミン受容体 D2/D3 機能の変化

DaSilva AF, et al. Dopamine D2/D3 imbalance during migraine attack and allodynia in vivo. *Neurology* 2017;88:1-8. 10.1212/WNL.0000000000003861

掲載日：2017/05/16